

## 川村喜一郎：

海洋地質学が専門。海底地すべりと気候変動の関連性について調べている。

20年以上前、長い間旅していた。ビクトリアフォールズも訪れた場所のひとつ。その頃、ジンバブエはアフリカの優等生だった。

### ビクトリアフォールズ編

ハラレから私は一路、北へ向かうこととした。次の目的地はビクトリアフォールズ。そこまではずっと電車である。まず、ハラレからブラワヨまでチケットを買った。3等客室で、一日ゆられているとブラワヨに着く。私は電車の中で考えていた。日本に帰ろう、と。日本に帰ってなにかしてみよう、と。ハラレで友人は野球を教えて暮らしている。私も何かやってみたい、と。

ブラワヨには朝、到着した。そして、次にビクトリアフォールズ行きのチケットを買った。しかし、次の電車は夕方にしか出ないらしい。ぶらぶらすることにした。博物館があるとガイドブックに書いてあったので行ってみることにした。歩いて1時間くらい。帰りもそのくらい。あんまり面白くなかった。駅でぶらぶらしていると日本人らしい人が座っていた。話しかけてみるとやはり日本人だった。一橋大学の心理学の大学院生らしい。うまがあったので、彼と行動を共にすることにした。

その後、ブラワヨから、ビクトリアフォールズを通して、ザンビアのリビングストーンからルサカに抜けた。ビクトリアフォールズは、とても大きな滝で、まさに水のカーテンだった。水は大地の裂け目へと吸い込まれるように落ちてゆき、大地の裂け目の底には、ザンベジ河がごうごうと流れていた。安全柵などなく、大地の裂け目の端まで行くことができた。自己責任なのだろう。谷底まで落差100m以上。橋からはバンジージャンプの楽しめる。

ビクトリアフォールズでは、日本で良く見かけたコンビニがあった。SPAR。木のマークも一緒。SPAR ビクトリアフォールズ店で買い物をした。買ったビールはザンベジ・ラガー。ザンベジ川にかんぱい。さて、次は、いよいよ国境超え。橋の先は、ザンビアである。(つづく)